

Kaspersky Endpoint Security 11 for Linux インストールガイド

2023/04/10 株式会社カスペルスキー セールスエンジニアリング本部 Ver 2.3

kaspersky

1.	はじめに	3
1	.1. 本資料の目的	3
1	.2. 製品概要	3
1	.3. 前提条件	4
1	.4. 注意事項	4
1		5
2.	アプリケーション管理対象プラグインのインストール	6
3.	ポリシー、タスクの設定	9
4.	ネットワークエージェントのインストール	.13
5.	KESL のインストール	.22

1. はじめに

1.1. 本資料の目的

本資料では、「Kaspersky Endpoint Security for Linux」をインストールする手順、及び管理サーバーにて 管理する手順についてご説明します。

1.2. 製品概要

それぞれの主な役割は以下の通りです。

- Kaspersky Endpoint Security 11 for Linux (KESL): Linux OS (サーバー、ワークステーション)を対象としたアンチウイルス製品です。マルウェアのスキャンや駆除を行います。
- Kaspersky Security Center (KSC):
 KESLや、他のカスペルスキー製品を集中管理するための管理サーバー製品です。定義データベースの配信 やポリシー・タスクの管理を行います。
- Kaspersky Security Center ネットワークエージェント:

KSC とクライアントデバイスが通信をするために必要となるアプリケーションです。KSC から定義データベー スを受信、ポリシー・タスクなど管理情報の更新、クライアントデバイスのステータス送信などを行います。

1.3. 前提条件

・KESL が適切に動作するためにインストール先のコンピュータが最低システム要件を満たしていること。 <KESL システム要件>

https://support.kaspersky.com/help/KES4Linux/11.3.0/ja-JP/235168.htm

・「KSC14 インストールガイド」に記載された内容が実施済みで KSC の初期構築が完了していること。 (KESL のアプリケーション管理プラグインおよびインストールパッケージのインストールを除く)

1.4. 注意事項

・必要なパッケージがインストールされていない場合、依存性の欠如のエラーが出力されます。
 ソフトウェア要件を確認の上、本章の作業を実施してください。
 ・手順内ではメジャーバージョン以外は全てバージョン表記を"x"と記載しています。
 インストール実施時は弊社サポートサイトより最新のバージョンをダウンロードしてください。



1.5. インストールの流れ

カスペルスキー製品導入の流れについてご説明します。



カスペルスキー製品の導入に関する各資料は、以下サイトから閲覧、ダウンロードすることができます。

・法人のお客様向けダウンロード資料 (<u>https://kasperskylabs.jp/biz/</u>)

2. アプリケーション管理対象プラグインのインストール

本章では、KSC に対し、KESL 用の「アプリケーション管理プラグイン」をインストールする手順についてご説明します。

※「アプリケーション管理プラグイン」とは

KSC にてカスペルスキー製品を管理するためにインストールするコンポーネントです。アプリケーション毎に用意されており、ポリシー・タスクの作成、クライアントデバイスから受信する情報の取得などに使用します。

 アプリケーション管理プラグインのインストー ルの前提条件となる Microsoft Visual C++ 2015 Redistributable Update 3 RC をインストールします。 以下のサイトにアクセスします。 <u>https://www.microsoft.com/jajp/download/de-</u> <u>tails.aspx?id=52685</u>



(2)「ダウンロード」をクリックし、

「vc_redist.x86.exe」を選択後、「次 へ」をクリックしファイルをダウンロードします。 ダウンロード完了後、 「vc_redist.x86.exe」を実行します。

- (3)「ライセンス条項および使用条件に同意す る」にチェックをつけ、「インストール」をクリッ クします。
 - ※ インストールに失敗する場合は
 Windows Update を行い、
 OS を最新の状態にしてください。
- (4) セットアップ完了が表示されることを確認 し、「閉じる」をクリックします。

- (5) アプリケーション管理プラグインをダウンロー ドします。
 以下サイトを開き、「最新版をダウンロー ド」をクリックします。
 https://support.kaspersky.co.jp/kes11linux# downloads
- (6) 表示されたパッケージ一覧内の KESL 用の管理プラグイン:「Version
 11.x.x.xxxx | Windows |Administration Plug-in」の「ダウンロード」ボタンをクリックします。



- (7) KSC 上でダウンロードした 「klcfginst.msi」を実行します。
 - ※ 実行前に KSC 管理コンソールは 終了してください。

(8)「次へ」をクリックします。



(9) ウィザードが自動で進行します。インストー ル完了後、「OK」をクリックします。



本章は以上です。

kaspersky 3. ポリシー、タスクの設定

本章では、KESLの利用に最低限必要なポリシー、タスクを「クイックスタートウィザード」を使用して作成する手順についてご説明します。

※ ポリシー、タスクとは

ポリシーとは、KESL の各種機能をどのように適用させるかのルールを設定し、普段デバイスをどのように保 護するかを決定します。 アップデートやスキャンなど、定期的に実行する必要のある作業は「タスク」として定義します。 ポリシーは常時動いている設定、タスクはスケジュールか手動で動かす一時的な動作と言えます。

 KESL 用のアプリケーション管理対象プラグ インをインストール後、KSC 管理コンソール を開くとクイックスタートウィザードが自動起 動します。「次へ」をクリックします。

÷	クイックスタートウィザード	×
	「Kaspersky Endpoint Security 11.3.0 for Linux」のクイックス タートウィザードへようこそ	
	新しいアプリケーション「Kaspersky Endpoint Security 11.3.0 for Linux」のプラグインを検出しました。 クイックスタートウィザ ードを使用して、 アプリケーションの初期設定、 およびポリシーとタスクの作成ができます。	
	次へ(N) キャンセ	JL

 (2) Kaspersky Security Network に関す る声明の確認です。
 Kaspersky Security Network を利 用する場合は「Kaspersky Security Network に関する声明をすべて確認し、 理解した上で条項に同意する」をクリック し、「OK」をクリックします。

Kaspersky Security Network に関する声明		?	\times
Kaspersky Security Network に関する声明 Kaspersky Security Network に関する声明を確認し、KSN に参加するかどうかを決定してくだ	だい。		
KASPERSKY SECURITY NETWORK に関する声明			-
Caspersky Security Network に関する声明(以下「KSN 声明」といい Endpoint Security for Linux(以下「本ソフトウェア」といいます)に適	·ます)は、 用されます	Kaspers! °	ky
.の声明で使用される用語はすべて使用許諾契約書(原契約ともいい)条項で説明されているものと同じ意味を持ちます。	ヽます)の	「定義」	
データ処理に関する条件」の項をはじめに本ソフトウェアの使用計 '明では、KSN 声明で示されるデータの転送および処理に関する条 について説明します。同意する前に、KSN 声明の条項および KSN '書を注意深くお読みください。	午諾契約お。 ⊧件、責任お 市明内で参	≵び KS }よび手∦ ◆照され	N 続る
S客様が KSN の使用を有効にする際は、データ主体の個人データの データ保護規則(EU)(General Data Protection Regulation、GDPR) 条の1の(a)から(f)の規定(データ主体が欧州連合内に存在する場 報報、個人情報およびデータ保護に関する法律を含む、適用される法 に義務を負うものとします。)処理が、と (規則 2016/ 合) 、まだ 去律に従って	:くに、 '679)の約 :は、機 ているこ	一第空
データの保護と処理 全利者は、本声明に基づいてお客様から受け取るデータを権利者のフ / ~(<u>https://www.kaspersky.co.jp/products-and-services-privacy-policy</u>)に	Ĵライバシー 従って扱い	ーポリ ます。	
 Kaspersky Security Network に関する声明をすべて確認し、理解した上で条 Kaspersky Security Network に関する声明の該条件(に同音した)) 	『項に同意する	5	
	ОК	キャンセ	IJЬ
			>
← クイックスタートウィザード			
クイックスタートウィザードが完了しました。			
1	完了(F)	キャンセ	JL

(3)「完了」をクリックします。

(4) KESL を管理する管理グループを開きま ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H) ⊨ ⇒ | 2 📰 🗈 | 🗄 🤉 🖬 す。ここでは「管理対象デバイス」とします。 Kaspersky Security Center 14 管理サーバー KSC > 管理対象デバイス □ 管理対象デバイス 受 管理対象デバイス デバイスの抽出 「「未割り当てデバイス」 デバイス ポリシー タスク ジボリシ 自タスク 日 カスペ ン ## 詳細 ポリシー タスク カスペルスキーのライセンス デバイスをグループに移動 新規グループ 処理を実行 ▼ 列の追加と削除 ▶ フィルターが指定されていません。レコードの合計:1
列をテキストで検索 ステータスを選択: 🔽 緊急:0. 🔽 警告:0. 💟 OK:1. 通択したブループおよびそのサブブループ内にある. 指定したステータスのデバイス数が上部に表示されます。その下のリストには通択したブループ 前回の管理サー.... ネットワークエージ... リアル... 作成日 名前 グループの完全名 管理対象デバイス (5)「ポリシー」タブを開き、KESL 用のグループ ポリシーが作成されていることを確認しま 管理サーバー KSC > 管理対象デバイス ⊙ ポリシー す。 デバイス ポリシー タスク ポリシーをファイルからインポート 列の追加と削除 Kaspersky Endp アクティブ Kaspersky Endpoint Security 11.3.0 for Linux 継承... 2023... 2023... Kaspersky Endpoint Security for Window...
アクティブ Kaspersky Endpoint Security for Windows (... 継承... 2023... 2023... Kaspersky Security Center ネットワークエージェント Kaspersky Security Center ネットワークエージェ... 继承... Kaspersky Security Center 14 ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H) (6) 「タスク」タブを開き、KESL 用の以下タスク 🔿 🖄 💼 🗈 🔛 🧟 📓 🖬
 マード
 図 (1)
 日 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (2)
 (が作成されていることを確認します。 **管理サーバー KSC >**管理対象デバイス ☞ グループタスク デバイス ポリシー タスク ・アップデート 新規タスク タスクをファイルからインボート 列の追加と削除 ・ウイルススキャン アプリケーション タスク種別 Databases and Modules Update
Databases and Modules Update for Kasp... Kaspersky Endpo int Agent ses and Modules Update ・システム変更チェック 📋 アップデート Kaspersky Endpoint Security 11.3.0 for Linux アップデート アップデート ・簡易スキャン -Pップデートのインストールと脆弱性の修正 アップデートのインストールと腺類性の修 アップデートのインストールと脆弱性の修正 v Center 管理サ ウイルススキャン Kaspersky Endpoint Security 11.3.0 for Linux ウイルススキャン -ソステム変更チェ システム変更チェック Kaspersky Endpoint Security 11.3.0 for Linux システム変更チェック 簡易スキャン Kaspersky Endpoint Security 11.3.0 for Linu 簡易スキャン 胞弱性とアプリケーションのアップデートの検索 脆弱性とアプリケーションのアップデートの検索 Kaspersky Security Center 14 (7) 定義データベースのアップデート元を変更し ます。「アップデート」タスクをダブルクリックし 管理サーバー KSC > 管理対象デバイス ④ グループタスク ます。 デバイス ポリシー タスク 自 タスク
 引 カスペルスキーのライセンス
 > 詳細 新規タスクタスクをファイルからインポート 列の追加と削除 ~ 名前 アプリケーション タスク種別 Databases and Modules Update
Databases and Modules Update for Kasp.... Kaspersky Endpoint Agent Databases and Modules Update アップデート Kaspersky Endpoint Security 11.3.0 for Linux アップデート -アップデートのインストールと脆弱性の修正・ □ アップデートのインストールと聴聞性の修正 Kaspersky Security Center 管理サーバー アップデートのインストールと腺弱性の修正 パルススキャン ウイルススキャン ウイルフフキャン Kaspersky Endpoint Security 11.3.0 for Linu ロイルススキャン システム変更チェックー
 システム変更チェック 簡易スキャン
 簡易スキャン システム変更チェッ Kaspersky Endpoint Security 11.3.0 for Kaspersky Endpoint Security 11.3.0 for Lin 簡易スキャン 胞弱性とアブリケーションのアップデートの検索 一 ■ 腕弱性とアブリケーションのアップデートの検索 Kaspersky Security Center ネットワークエージェント 脆弱性とアプリケーションのアップデートの検索

 (8)「アップデート元」セクションをクリックし、「定 義データベースのアップデート元」を
 「Kaspersky Security Center 管理サ ーバー」に変更し、「OK」をクリックします。

> ※インターネット上から定義データベースを ダウンロードする場合、既定値である「カス ペルスキーのアップデートサーバー」のまま変 更せず閉じます。

💽 วีนใกรา : アップデート	- 0	×
セクション	アップデート元	
全般	定義データベースのアップテート元	_
通知	○ カスパルスターのアップデートサーバー	
スケジュール	● Kaspersky Security Center 管理サーバー	
アップデート元	○□「フルレーヘットフーシネルには1ノタ「ーヘット工の型のアップデート元	
設定	詳細設定	
タスク範囲からの除外	☑ 他のアップデート元が使用できない場合はカスペルスキーのアップデートサーバーを使用する	
変更履歴		
<u> </u>	OK キャンセル 適用(A))
		/

本章は以上です。

4. ネットワークエージェントのインストール

本章では、Linux OS に対し、ネットワークエージェントをインストールする手順についてご説明します。 尚、本章では x64 ビットの OS に対するインストールを想定した手順となります。 x86 ビットの OS にインストール する場合は x86 ビット OS 用のインストーラーをご利用ください。

(1) 以下サイトを開き、「最新版をダウンロー ド をクリックレます。	Kaspersky Endpoint Security 11 for Linux サポートサイト オンラインヘルプ よくある質問まとめ (FAQ) システム要件 購入 更新 フォーラム (英語) サポートへ思い合わせる		
https://sup- port.kaspersky.co.jp/kes11linux# downloads	リリース情報 ライセンス 診断	トラブルシューティング	
	診断 トラブルシューティング	Linux サーバー および ワークステーションを保護 Kaspersky Endpoint Security for Linux は、幅広い Linux ブラットフォームに迫るあ ③ Kaspersky Endpoint Security for Business Advanced の一部として購入 ④ 更新 最新版をダウンロード カスペルスキーのソリューションを最大限に活用するために、 Professional Services	
 (2) 表示されたパッケージ一覧内のネットワーク エージェントインストール用ファイルをダウンロ ードします。 ※RHEL 系 OS の場合 「Version11.x.x.xxxx Red Hat Enterprise Linux x64 Files for Agent remote installation」 	Kaspersky Endpoin ビルド ・ Kaspersky Endpoin Version 11.3.0.7441 1 ・ Kaspersky Endpoin Version 11.3.0.7441 1 ・ Kaspersky Endpoin Version 11.3.0.7441 1	nt Security for Linux At Security for Linux Debian 1386 Distributive At Security for Linux Debian 1386 Files for Agent remote At Security for Linux Debian 1386 Network agent	
※Debian 系 OS の場合 「Version11.x.x.xxxx Debian x64 Files for Agent remote in- stallation	 Kaspersky Endpoir Version 11.3.0.7441 I Kaspersky Endpoir Version 11.3.0.7441 I 	nt Security for Linux ダウンロード Debian i386 Product GUI nt Security for Linux ダウンロード Debian x64 Distributive	

の作成」をクリックします。

ジを作成する」をクリックします。

す。

(3) (2)でダウンロードしたファイルを任意のフォ ルダーへ解凍します。



📙 🛛 🛃 🤿 🛛 klnagent-x86_64-14.0.0.4646-rpm

_

 \times

(6) インストールパッケージ名を入力し、「次へ」 をクリックします。 ここでは「KESL-Network Agent」としま す。



(7) インストールする配布パッケージを選択しま す。「参照」をクリックし、(3)で解凍したフォ ルダー内にある「kInagent.kpd」を選択し ます。



(8) アプリケーション名やバージョン情報が表示 されたことを確認して「次へ」をクリックしま す。

←	新規パッケージウィザード		>
	インフトールする配左パッケージの選	1.2	
			1
	Network Agent for Linux		参照
	アブリケーションのバージョン:14.0.0.4646		
	□ アップデートをリポジトリからインストール/	『ッケージへコピーする	
			次へ(N) キャンセル
-	新規パッケージウイザード 使田許詳契約書とプライバシューポ!	\$/-	>
	使用許諾契約書の言語:		→wkロークエージェンk fastisuu (*
Kaspersky Security Center 14 ネットワークエージェント、Kaspersky Security Center 14 ネットワークエージェント for Li 関する使用許諾契約書 お客様が本契約の記述が含まれるウィンドウで同意を示すボタンをクリック、または対応する記号を入力、またはネソフ を使用とた時点で、この契約条件に拘束されることに同意したことになります。当該行為はお客様の署名を示すもので 客様は本契約に拘束され、その当事者となることに同意し、また、本契約者が署名入り契約文書と同様の執行力を とに同意さちなりとます。本契約の皆条件に同意されない場合は、ホンフトウェアのインストール作業を中断し、ホンフ をイノストールしないでください。また、本契りわちアングション			る記号を入力、または本ソフトウェア お客様の書名を示すものであり、お 2約文書と同様の執行力を持つこ ストール作業を中断し、本ソフトウェア
	ソフトウェアにライセンス契約書または同様の3 契約よりも優先します。	文書が付属する場合は、当該文書に定義され	れているソフトウェア使用条件が、本
	 定義 1.1. キソフトウェアとは、Kaspersky Security ワークエージェント for Linux を意味し、アップ 1.2. 権利者(独占的であるか否かを問わず 設立された企業、AO Kaspersky Lab を意味 1.3. 端末とは、ホソフトウェアをインストールし、 (如人用デジタル機器、スマトフォン、バン 	Center 14 ネットワークエージェントおよび Kas デートおよび間連資料を含みます。 、本ソフトウェアに関するすべての権利の所有 未します。 で使用するハードウェアの組み合わせを意味し、 ドベルト検査 、その他、本ソフトウェアが対応:	persky Security Center 14 ネット 者)は、ロシア連邦法に基づいて 、パソコン、ノートPC、ワークステーショ する電子 装置、およびオペレーティン
	クシステム (仮想マシンのシステムを言む) を 1.4. エンドユーザー (お客様) とは、本ソフド 組織を意味します。本契約の目的において「 会社 労働組会 注 ルルされていたい組織	意味にます。 ウェアをダウンロードまたは取得し、本契約に同 組織にとは、含名会社、有限会社、企業、祖 政府当局を今20年まが「わこに限りません」	意する人物を代表として承認した 強会、合資会社、信託会社、合弁 また、回しを代来して大いコトウェア >
	☑この使用許諾契約書の内容をすべて確認	し、理解した上で条項に同意します。	
			(A) (N) キルシルロ
			火ハ(N) キャンセル

(9) 使用許諾契約書とプライバシーポリシーを 確認します。「使用許諾契約書の条項」と のチェックボックスを ON にして「次へ」をクリ ックします。



(10) 完了をクリックします。



(11) 作成したインストールパッケージを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

(12) 「接続」セクションの管理サーバーのIP アドレスの設定が正しく設定されていることを確認し、「OK」をクリックします。



(13) 作成したインストールパッケージを右ク リックし、「スタンドアロンパッケージの作成」 をクリックします。

 (14) ネットワークエージェントインストール後 にデバイスを移動するグループを選択します。 「参照」をクリックし、移動するグループを選択して「次へ」をクリックします。 	← スタンドアロンインストールパッケージ作成ウィザード 管理対象デバイスのリストへ移動 ネットワークエージェントのインストール後にデバイスを管理グループに移動するかどうか選択します。	×
ここでは移動するグループを「管理対象デ バイス」とします。	 ○ デバイスを移動しない ● 未割り当てデバイスをこのグループへ移動: 管理対象デバイス 参照。 	
(15) スタンドアロンパッケージの作成結果 が表示されます。そのまま「次へ」をクリック します。	 ★ スタンドアロンインストールパッケージ作成ウィザード スタンドアロンインストールパッケージの作成の結果 選択されたアブリケーションのスタンドアロンインストールパッケージ(installecexe)が共有フォルダー内に生成されたた。 パキャルパト-Q79HJSI7K0U#KLSHARE#PkgInstWhetAgent_14.0.0.4646#klnagent64-14.0.0-4646x86_64.sh 次の処理: フォルブーを聞く スタンドアロンインストールパッケージのリンクをメールで法信 Web サイト公開リンク用サンブル HTML 	<u>キャンセル</u> × まし
	[次へ(N)]	キャンセル



- (16) 「完了」をクリックします。 スタンドアロンインストールパッケージ作成ウィザード ウィザードが終了しました。 □ スタンドアロンパッケージのリストを開く 完了(F) (17) (13)で作成したスタンドアロンインスト < > < 🖸 tmp KESL > ୟ := ≡ o x -ールパッケージを LinuxOS にコピーしま ◎ 最近開いたファイル 命 ホーム す。 🕹 ダウンロード ここでは、Linux 上の /tmp/KESL/ に I ドキュメント klnagent64-14.0.0-4646.x86_ コピーしています。 ⊫ ビデオ 64.sh よう 日本 ◙ 画像 🗇 ゴミ箱 + 他の場所 コンソール上からファイルの保存場所 (18) [root@localhost ~]# cd /tmp/KESL/ [root@localhost KESL]# sh klnagent64-14.0.0-4646.x86_64.sh に移動し、インストールコマンドを実行しま す。 <コマンド>
 - cd /tmp/KESL sh klnagent64-14.x.x-xxxx.x86_
 - 64.sh

(19) インストールが完了すると、「Product successfully installed!」を表示されます。	Unpack archive to '/tmp/28.03_17.02.48.228906886' Found installer Found parameters Run package installer 'akinstall.sh ' [2023/03/28 17:02:48] Ready to start installation [2023/03/28 17:02:48] Reading kpd-file /tmp/28.03_17.02.48_228906886/kinagent.kpd [2023/03/28 17:02:48] +++ Installation kInagent64 version 14.0.0.4646 started [2023/03/28 17:02:48] Package type specified in kpd-file is ALL [2023/03/28 17:02:48] Checking if any supported package managers are installed [2023/03/28 17:02:48] Result of check if RPM package manager is missing - 0 [2023/03/28 17:02:48] Result of check if DPKG package manager is missing - 1 [2023/03/28 17:02:48] Result of check if PKGNG package manager is missing - 1 [2023/03/28 17:02:48] Following package managers are missing: RPM - 0, DPKG - 1, PKGNG - 1 [2023/03/28 17:02:48] Hollowing package manager RPM [2023/03/28 17:02:48] +++ Installing from package /tmp/28.03_17:02:48] Executing rpm -quiet -q kinagent [2023/03/28 17:02:48] Executing rpm -ueiter -q kinagent [2023/03/28 17:02:48] Executing rpm -U kinagent64-14.0.0-4646.x86_64.rpm [2023/03/28 17:02:48] Executing rpm -U kinagent64-14.0.0-4646.x86_64.rpm kinagent64.service is not a native service, redirecting to /sbin/chkconfig. Executing /sbin/chkconfig kinagent64 on Start automatic installation Starting kinagent64:
	Kaspersky Network Agent is installed. Binaries were installed in /ont/kaspersky/klnagent64/bin Product successfully installed! Clean temporary directory /tmp/28.03_17.02.48.228906886'
(20) ネットワークエージェントの稼働を確認 するため、以下コマンドを実行し、すべての 項目が OK であることを確認します。	[root@localhost KESL]# /opt/kaspersky/klnagent64/bin/klnagchk Starting klnagchk utility Checking command-line argumentsOK Initializing basic librariesOK Current host is " Network agent version is '14.0.0.4646'
<コマンド> /opt/kaspersky/klnagent64/bin/kl nagchk	Reading settingsOK Checking settingsOK Administration Agent settings: Server address: '192.168.0.104' Use SSL: 1 Compress traffic: 1 Server SSL ports: '13000' Server SSL ports: '14000' Use proxy: 0 Certificate: present Open UDP port: 1 UDP ports: '15000' Ping period, minutes: 15 Conn timeout, s: 30 RW timeout, s: 30 RW timeout, s: 180 Hostid: c6166d2b-cf81-4ba3-97e7-033eb29f9af8 Connecting to serverOK Connecting to the Administration AgentOK Administration Agent is running Acquire Administration Agent statisticsOK Administration Agent statistics: Ping count: 1 Succ. pings: 1 Sync count: 1 Succ. syncs: 1 Last ping: 2023年03月28日 08時16分51秒 GMT (2023年03月28日 17時16分51秒)

本章は以上です。

kaspersky 5. KESL のインストール

本章では、Linux OS に対し、KESL をインストールする手順についてご説明します。

尚、本章では x64 ビットの OS に対するインストールを想定した手順となります。 x86 ビットの OS にインストール する場合は x86 ビット OS 用のインストーラーをご利用ください。



成」をクリックします。

す。

(3) (2)でダウンロードしたファイルを任意のフォ ルダーへ解凍します。



(6) インストールパッケージ名を入力して「次へ」 をクリックします。 ここでは「KESL11」とします。



(7) インストールするパッケージを選択します。
 「参照」をクリックし、(2)で解凍したフォルダ
 一内にある「kesl.kud」を選択します。

(8) アプリケーション名やバージョン情報が表示 されたことを確認して「次へ」をクリックしま す。



(9) 使用許諾契約書とプライバシーポリシーを 確認します。「使用許諾契約書の条項」と 「データの取り扱い方法を記載しているプラ イバシーポリシー」のチェックボックスを ON にして「次へ」をクリックします。



(10) 「完了」をクリックします。



(11) 作成したインストールパッケージを右ク リックし、「アプリケーションのインストール」を クリックします。

(12) インストールするデバイスの選択をしま \times リモートインストールウィザード す。 インストールするデバイスの選択 「管理対象デバイスのグループへ製品をイ ンストールする」をクリックします。 管理対象デバイスのグループへ製品をインストールする デバイスが既に管理グループに含まれている場合はこのインストール方法を使用します。アプリケーショ ンは選択したグループとそのサブグループの適合するデバイスすべてにインストールされます。 インストールするデバイスの選択 どの管理グループにも含まれていないデバイスにアプリケーションをインストールする場合(たとえば最初 のシステム導入の際)はこのオプションを使用します。グループ内の選択したデバイスにアプリケーション をインストールする場合にもこのオプションの使用を推奨します。 同等以上のバージョンの製品がインストール済みのデバイスにはインストールされません。 次へ(N) キャンセル × 「参照」をクリックし、インストールする (13) ← リモートインストールウィザード デバイスが登録されているグループを選択 アプリケーションをインストールするグループの選択 して「次へ」をクリックします。 グル 管理対象デバイス 参照(B)...

キャンセル

次へ(N)

(14) リモートインストールタスク設定の定義 を設定します。

←

←

既定値のまま「次へ」をクリックします。

- \times リモートインストールウィザード リモートインストールタスク設定の定義 インストールパッケージの強制ダウンロード ☑ ネットワークエージェントを使用する □ ディストリビューションポイントを通じてオペレーティングシステムの共有フォルダーを使用する ✓管理サーバーを通じてオペレーティングシステムの共有フォルダーを使用する クラウドサービスプロバイダーの APIを使用して操作を実行するには、特別なライセンスが必要です。詳細... - 別の管理サーバーの管理対象デバイスに対する処理 ④ 全デバイスにインストール(L) ○この管理サーバーで管理されているデバイスにのみインストール(T) ☑ アプリケーションが既にインストールされている場合再インストールしない 次八(N) キャンセル × リモートインストールウィザード ライセンス情報ファイルの選択 アプリケーション 管理対象デバ... ライヤンス... 上限 編 Kaspersky Endpoint Security for Business - ... (はい) 製品版 300 追加<mark>(A)</mark> プロパティ<mark>(P)</mark> ●ライセンスやアクティベーションコードをインストールパッケージに含めない(推奨)(N) ライセンスのプロパティで自動配信が有効になっている場合、またはライセンスの追加タスクが作成済み である場合は、この方法を選択します。 ○ライセンスまたはアクティベーションコードをインストールパッケージに含める(P) インストールパッケージは共有フォルダーに配置されるため、ライセンスが漏洩する可能性があり、推奨 されません。 次へ(N) キャンセル
- (15) 適用するライセンスの設定をします。 「ライセンスやアクティベーションコードをイン ストールパッケージに含めない」にチェックを 入れ「次へ」をクリックします。

インストール完了後、KSC に登録されてい るライセンスが自動的に適用されます。

(16) デバイスにアクセスするアカウントを選 択します。そのまま「次へ」をクリックします。



(17) インストールを開始します。そのまま「次へ」をクリックします。

(18) インストールが開始されます。「完了」 をクリックします。

(19) 「タスク」タブを開き、「KESL11の導

ることを確認します。



本章は以上です。

株式会社カスペルスキー

〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-12-8 住友不動産秋葉原ビル 7F

www.kaspersky.co.jp | kasperskylabs.jp/biz/

©2023 Kaspersky Labs Japan. Kaspersky Anti-Virus および Kaspersky Security は、AO Kaspersky Lab の登録商標です。 その他記載された会社名または製品名などは、各社の登録商標または商標です。なお、本文中では、TM、®マークは明記していません。 記載内容は 2023 年 04 月現在のものです。記載された内容は、改良の為に予告なく変更されることがあります。